

長野県穂高商業高等学校と

「人材育成・地方活性化への協力に関する連携協定」を締結いたしました。

松本信用金庫(理事長:田中鈴生)と長野県穂高商業高等学校(校長:原康倫)は、10月19日(水)付けで「人材育成・地方活性化への協力に関する連携協定」を締結いたしました。

県下金融機関は長野県とそれぞれ「地方創生に向けた連携協定」を締結し、それ以降もさらに連携を深めようとしています。その中において「金融教育による人材育成」は金融機関に求められているテーマの一つであり、県下金融機関はその推進方法を模索しています。

当金庫では、県下金融機関として初めて県立高等学校との包括連携協定を締結し、県下金融機関に先駆け長野県との「地方創生に向けた連携協定」に基づく「金融教育による人材育成」の取組みを開始いたします。

記

1. 業務連携の趣旨

教科「商業」の学びを通じた人材育成や地域の活性化を図ることを目的として、緊密な連携と、協働による活動を推進する。

2. 連携協定内容

- (1)教科「商業」の各科目での授業に関する連携
- (2)特別活動に関する連携
- (3)キャリア教育と起業家精神育成に関する連携
- (4)地域活性化への取組みに関する連携
- (5)その他人材育成に関する連携

